

平成29年6月14日

有毒植物による食中毒の発生について

今般、越谷市内で、有毒植物による食中毒が発生しました。

全国では、春先から初夏にかけて、有毒植物を食用の植物と誤って喫食したことによる食中毒が多く発生しています。

食用と確実に判断できない植物は、絶対に「採らない」、「食べない」、「売らない」、「人にあげない」よう注意してください。

また、野草を食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を受けてください。

1 事件の概要

(1) 探 知

平成29年6月13日（火）午前8時40分頃、市内の医療機関から「野草を食べて体調不良となった患者1名が救急搬送された。」旨の通報があり、調査を開始した。

(2) 喫食日時：6月12日（月）午後9時頃

(3) 発症日時：6月12日（月）午後9時頃～

(4) 摂食者数：2名

(5) 有症者数：2名（男性1名、女性1名、50歳代）

受診者1名、入院者なし。全員、快方に向かっている。

(6) 主な症状：顔面のしびれ、ふらつき、嘔吐

(7) 原因食品：バイケイソウ（推定）

（喫食メニュー：野草の天ぷら）

(8) 原因食品の採取から発症までの経緯：

ア 6月11日（日）に、長野県へ登山に出かけ、誤って当該野草を食用の野草と思い採取した。

イ 自宅に持ち帰り、6月12日（月）の夜に調理して喫食したところ、発症した。

2 食中毒と判断した理由

(1) 野草の残品を確認したところ、バイケイソウと推定されること。

(2) 患者の症状及び発症までの時間がバイケイソウによるものと一致すること。

(3) 患者を診察した医師から食中毒の届出があったこと。

3 当該野草について

バイケイソウは、アルカロイド類（ベラトラミン、プロトベラトリン、ジェルビン等）の毒成分を持ち、オオバギボウシ（地方名ウルイ）ギョウジャニンニクと間違えやすい植物です。

画像 当該野草の残品



画像 バイケイソウ及びオオバギボウシ（厚生労働省ホームページより）



バイケイソウ（有毒）



オオバギボウシ（食用）

問合せ 保健医療部 保健所
生活衛生課長 伊藤 誠一
直通 048-973-7533（8：30～17：15）
E-mail: 10075500@city.koshigaya.saitama.jp

(参考) 有毒植物による食中毒について

有毒植物による食中毒に注意しましょう (厚生労働省ホームページ)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/yuudoku/index.html

自然毒のリスクプロファイル (厚生労働省ホームページ)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html